

タイムサーバのうるう秒対応状況について

セイコープレジジョン製タイムサーバをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
さて、2006年1月1日午前9:00にうるう秒が実施されます。
弊社タイムサーバシリーズのうるう秒対応状況とうるう秒実施情報の取得については下記の通りです。
また、うるう秒調整に関する詳細情報を HP 上に公開しておりますのでご参照ください。

1. うるう秒対応機種一覧および機種別対応状況

機種	うるう秒実施情報の取得
TS - 2010FM	手動により実施情報を設定
TS - 2010テレホンJJY	テレホンJJYサービスより自動取得
TS - 2010長波JJY	長波帯標準電波サービスより自動取得
TS - 2010BC(放送局用親時計接続)	手動により実施情報を設定
TS - 2520テレホンJJY	テレホンJJYサービスより自動取得
TS - 2520セカンダリ	上位NTPサーバに依存
TS - 2530GPS	GPS 衛星から自動取得又は手動設定 11/18 改定 自動取得の一部動作に不具合が見つかりました。内容については別紙「TS-2530GPS 閏秒不具合報告書」を参照願います。対応にはファームウェアのバージョンアップが必要になります。

2. うるう秒未対応機種一覧

機種	備考
SC - 8210 + TDC - 50	SC - 8210、TDC - 50はうるう秒対応しておりません

3. タイムサーバのうるう秒調整機能

うるう秒調整方法は下記のように2種類あります。
設定の確認方法については各機器の取扱説明書をご参照願います。

アジャスト(TS-2010) / 漸次(TS-2520/2530)

タイムサーバはうるう秒実施時刻の約2時間前から徐々に時計を調整し午前9:00に1秒の調整を終了します。
この設定ではNTPパケットのうるう秒指示子*2をセットしません。

即時(TS-2010) / 瞬時(TS-2520/2530)

タイムサーバはうるう秒実施時刻の24時間前からNTPパケットのうるう秒指示子を"01"(うるう秒挿入)にセットし、うるう秒実施当日の午前9:00(直前)にうるう秒調整を行い、以降うるう秒指示子がリセットされます。

*2 うるう秒指示子 :LIビットまたは Leap Indicator と呼ばれる SNTP/NTP パケット内のうるう秒実施予告情報フィールドのことです。

なお、上記設定変更後は再起動が必要になります。再起動から時刻が配信可能となるまでに要する時間は以下の通りです。

TS - 2010(10秒程度)、TS - 2520(5分程度)、TS - 2530(15分程度)

4. お問合せ先

メール support@seiko-p.co.jp

以上